

〈目指す生徒像〉

- 1 〈知〉自ら課題を見付け、自ら考えて積極的に学習する生徒
- 2 〈徳〉お互いの違いやよさを認め合い、思いやりをもち、共に高め合える生徒
- 3 〈体〉健康と安全に留意し、心身を鍛え、困難を克服していこうとする生徒

〈目指す学校像〉

- 1 生徒と保護者にとって通いたい・通わせたい学校
- 2 教職員にとって気仙沼一勤務したい学校
- 3 地域にとって自慢の学校



〈目指す教師像〉

- 1 生徒一人一人を見つめ、生徒と共にある教師（職員）
- 2 授業を大切にし、共に学び合い切磋琢磨する教師
- 3 心身ともに健康で明るい教師（職員）



本年度の校内研究

〈本年度校内研究主題〉

自ら学び、考え、表現できる生徒の育成
～生徒に委ね支える授業づくりへの転換を通して～（3年次／3年計画）

〈研究の視点〉

「自ら学び、考え、表現できる生徒」を育むために、以下の視点に立った指導を工夫する。

〔視点1〕「個別最適な学びによる授業づくりの工夫」

〔視点2〕「協働的な学びによる授業づくりの工夫」

〈取組の具体〉

- 教科ごとに単元構想を見直し、自由進度学習や課題選択学習、発展課題学習を取り入れ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」がある授業づくりを行う。
- ロイロノートやジャムボードなどのコミュニケーションツールを利用し、意見交流の場を設定する。
- 単元の見通しを持たせるとともに、学習の振り返りを蓄積させることで、生徒一人一人が自分の学習を自己調整できるように支援する。
- スタディ・ログ（学習履歴）を保存蓄積し、個に応じた評価や分析をして個に応じた支援を行う。
- ペアやグループなど、生徒が状況に応じて課題解決に向けた学習形態を選択できるようにする。